2005 年度 小委員会活動成果報告

（2006 年 2 月 20 日作成）

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	**主 査 名**：渡邉史夫 **就任年月**：2005 年 4 月
所属本委員会 **（所属運営委員会）**	構造委員会	**委員長名**：和田　章
設　置　期　間	2005 年 4 月　～　2009 年 3 月	
設　置　目　的 **各年度活動計画** **（箇条書き）**	・1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』を毎年 1 回刊行し、登載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界の研究者・技術者に学術交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を図ることを目的にする。 2005 年度 ・査読付き論文集『構造工学論文集』Vol.51B の刊行 ・査読付き論文集『構造工学論文集』Vol.52B の企画 ・第 51 回構造工学シンポジウムの開催（論文集掲載論文の発表講演および討議、特別講演会および建築・土木合同パネルディスカッションの開催）	
委員構成 **（委員名（所属））**	**委員公募の有無**：無（構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している）。 主査：　渡邉史夫（京都大学） 幹事：　田村修次（京都大学防災研究所）　中埜良昭（東京大学生産技術研究所） 山田　哲（東京工業大学）　山田聖志（豊橋技術科学大学） 委員：　大森博司（名古屋大学）　神田　順（東京大学） 崎野健治（九州大学）　鈴木秀三（職業能力開発総合大学校） 竹脇　出（京都大学）　時松孝次（東京工業大学） 中島正愛（京都大学防災研究所）　中塚　佶（大阪大学） 林　静雄（東京工業大学）　三浦賢治（広島大学） 宮崎祐助（広島工業大学）　山崎　裕（横浜国立大学） 和田　章（東京工業大学）	
設置 WG **（WG 名：目的）**		
2005 **年度予算**	350,000 円	**ホームページ公開の有無**：有 **委員会 HP アドレス**：http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/

項　　目	**自己評価**
委員会開催数	５回
刊行物（シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 **（シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）**	１．（名称）第 51 回構造工学シンポジウム　参加者数 365 名 （資料名）構造工学論文集 Vol.51B （資料名）第 51 回構造工学シンポジウム ①特別講演会「製造現場の中核人材育成を目指して」（参加者数 90 名） ②建築・土木合同パネルディスカッション「構造物の維持管理について考える」（参加者数 80 名） ③福岡西方沖地震災害調査速報会（参加者数 151 名）
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 **（当初の活動計画と得られた成果との関係）**	１．すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点・課題	１．土木系に比べ建築の参加者が少ないので、今後さらにプロモーションを進め、多くの参加者を得るような方策策定要。 ２．建築構造分野としての、今後の取り組み姿勢を明確にする。